

JF-IETF-RFC6891

DNS 用拡張メカニズム (EDNS0)

Extension Mechanisms for DNS (EDNS(0))

第 1 版

2016 年 5 月 26 日制定

一般社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETF において制定された RFC6891 に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2016年5月26日	制定

4. 工業所有権

TTC の「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC1035, RFC2119, RFC2671, RFC3225

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

ドメイン名システム(DNS)用の伝送プロトコルには固定長フィールドが存在する。これらの固定長フィールドにはすでに枯渇しているものや枯渇直前のフィールドが多数存在しているため、クライアントの能力をサーバに伝達できないものがある。本標準はプロトコルを拡張する後方互換性のある機構について規定する。

本標準は、複数の実装経験から得られたフィードバックを踏まえ、DNS のための拡張機構を規定した RFC2671 を更新したものである。また、本標準は RFC2673 を廃止し、DNS の拡張ラベルの使用上の考慮事項を追加している。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC6891: 「Extension Mechanisms for DNS (EDNS(0))」